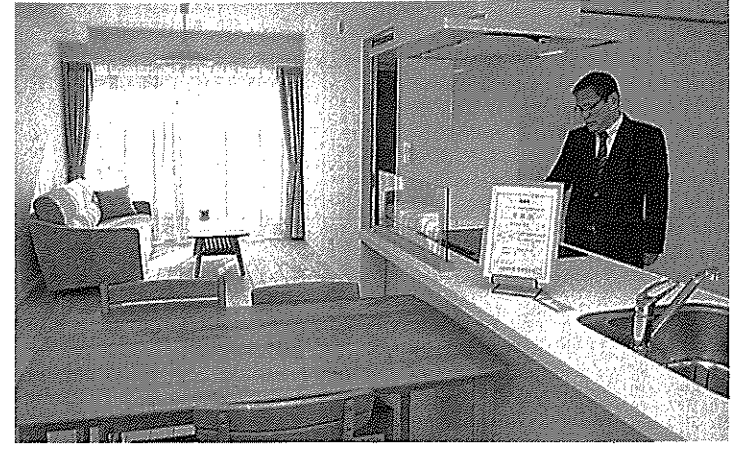


「省エネ健康住宅」

一戸建て賃貸建設

建設業などの荒正(山形市、須田和雄社長)は、県独自の「省エネ健康住宅」の認定を取得した賃貸の一戸建て住宅を同市に建設した。県によると、賃貸住宅での認定は初めて。賃貸でも高性能住宅への需要はありとみて、集合型の賃貸住宅も建設中。24、25の両日、一戸建て住宅の完成内覧会を開く。



一戸建て住宅の建設地は同市南栄町一丁目。木造2階建てタイプが5棟並ぶ。高気密・高断熱な建物構造に調湿・換気機能を備え、年間を通じてエアコン1台で全室一定の室温を保つ。3重サッシを採用することで、気密・断熱性能を保ちながら窓を大きく取ったことも特徴。

荒正は注文住宅と分譲住宅で、認定を取得した賃貸住宅を建設してきたが「所有形態にとらわれる必要はない」と、今回の賃貸住宅建設時にオーナーやまがた省エネ健康住宅の認定を取得した賃貸住宅の室内。高気密・高断熱の性能を維持しながら、窓も大きく取っている

山形市南栄町一丁目

山形市内 24、25日に完成内覧会

1側に提案。建設費用は割高になるものの、他の賃貸物件との差別化ができるため安定した入居が見込めることや、適切な温度管理によりメンテナンスコストが抑えられることなどで共感を博した。家賃は16万8千円で同種物件に比べて高めたが、入居者にも光熱費を抑えられるなどのメリットがある。

集合型住宅は、一戸建て住宅の南側に建設中。6戸が入り、3月の完成を予定している。須田社長は「暑さ寒さを我慢する県民性もあるが、温度変化が少なく、健康に良い住宅を賃貸でも供給したい」と話す。内覧会は両日とも午前10時から午後3時。問い合わせは荒正023(695)3381。(阿久津誠)

女性交流、魅力を発信 県建設業協が部会設立



設立総会後に記念撮影する那須悦子部長(前列中央右)、太田政往会長(同左)と女性部会のメンバー＝山形市・県建設会館

建設業で働く女性の連携と交流を図り、女性の視点による課題解決に向けた活動を行うと、県建設業協会(会長・太田政往)が建設業協会(会長・太田政往)と連携して、女性部会を設立した。若手社員から経営者まで16社19人が初期メンバーとなり、建設業の魅力を発信し、女性の活躍を促すことに取り組んでいく。副部長には渋谷建設(山形市)の佐藤仁実取締役副部長と、大栄(鶴岡市)の高橋舞社長を選任した。

山形市の県建設会館で設立総会が開かれ、太田会長は「女性が考える働きやすさの職場を実現することが、若者から選ばれる建設業になるために重要」とあいさつ。部長に選ばれた那須悦子(長井市)は「建設業で働く女性の活躍や担い手の確保などに取り組んでいく」と意気込みを語った。副部長には渋谷建設(山形市)の佐藤仁実取締役副部長と、大栄(鶴岡市)の高橋舞社長を選任した。

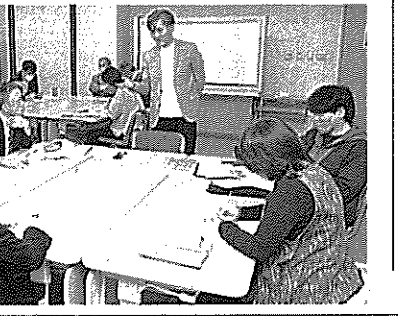
メンバーの自己紹介を兼ねた意見交換では「これまで味と花のような風味が特徴のコンゴビア産ビジャ・フアティマ、華やかな香りの高級コーヒード豆として知られるパナマ産エスメラルダ・ゲイシャ、クリーンな質感と爽やかさを味わえるコスタリカ産ラ・カンデリージャの3種類、笹の川酒造安積蒸溜所(福島県郡山市)の樽を使った、120g入りで、価格はゲイシャが7800円、他は4200円。東北萬國社のオンラインス

やまがた省エネ健康住宅 高い断熱性と気密性を持ち、居住者の健康や省エネに寄与する住宅を県が認定する制度。2018年度に「やまがた健康住宅」として開始し、本年度から「省エネ」の文字を入れた。制度開始から昨年未だに430棟が認定されている。



山形V・カレッジがパートナー契約締結 東京の非営利団体と学校法人山本学園が運営する専門学校「山形V・カレッジ」(山形市)は20日、基本ソフト(OS)の「Linux」の知識や活用技術を認定する資格試験を行う。同校で調印式を行い、山本学園理事長と同団体の伊藤健二(ニケイ)が契約書に署名した。山本校長は「連携によって、高度な内容に対応できる即戦力を育てたい」と話した。(瀬野麻衣)

中小20社の経営者 デザイン思考実践 山形・セミナー 県内中小企業がデザイン経営について理解を深めるセミナーとワークショップが20日、山形市の県高度技術研究開発センターで開かれた。約20社の経営者らが参加し、デザイン思考の実践に取り組んだ。写真。デザイン経営は、デザイナーの力をブランドの構築やイノベーションの創出に活用する経営手法。デザイナーが製品をデザインする際と同じように、ユーザーのニーズや課題を中心に据えて事業を展開する。この日、参加者は「豊かな山形を創る」ための課題や解決策をグループで話し合



では他の会社の女性との交流がなかつたので、ありがたい」「出産や子育てに際しても意見を出し合い、より良い建設業にしたい」などの声があつた。部会では、建設業への女性参画の促進を目的に同協会と県が共同で開催している「けんせつ女子ツアー&カフェ」への協力などの活動を通し、部員同士の交流を深めたい考え。(阿久津誠)

部(田中浩一会長)は22日午後6時半から、山形市のパレスグランデールで日本酒パーティー「うまいぞ山形 和醸良酒」を開く。酒蔵の解説を聞きながら、県産日本酒を味わえる。新型コロナウイルス禍が明け4年ぶりに開催。県内全酒蔵の大吟醸酒がそろい、県酒造組合による県統

一純米大吟醸酒「山形釀香」を本年度醸造した、▽酒田酒造(酒田市)▽和田酒造(河北町)▽東の醸酒造(南陽市)の3蔵から担当者が来場し、酒について直接説明する。席指定の前売り券1万円を会員16店で扱う。問い合わせは武田庄二商店023(6331)6255。(菅原武史)



東北萬國社が3月1日に発売する「バレルエイジドコーヒ」第6弾の3種類

香り付けコーヒード豆 来月から第6弾販売 山形・東北萬國社 東北萬國社(山形市、中村明子社長)は3月1日、コーヒード豆をウイスキー樽で寝かせ香り付けた「バレルエイジドコーヒ」の第6弾を発売する。モンテディオ山形の選手が監修したブレンドコーヒード豆も昨年に続き同日に発売する。第6弾は、マイルドな酸

味と花のような風味が特徴のコンゴビア産ビジャ・フアティマ、華やかな香りの高級コーヒード豆として知られるパナマ産エスメラルダ・ゲイシャ、クリーンな質感と爽やかさを味わえるコスタリカ産ラ・カンデリージャの3種類、笹の川酒造安積蒸溜所(福島県郡山市)の樽を使った、120g入りで、価格はゲイシャが7800円、他は4200円。東北萬國社のオンラインス

トアと直営店で販売し、予約特典もある。モンテとのコラボレーションコーヒード豆は選手がこだわりの豆をブレンド。ホム初戦の同日に天童市のNDソフトスタジアム山形に設けられる飲食店エリア「フルキッチン」で販売し、同18日からはオンラインストアと同社本社でも扱う。問い合わせは同社023(6331)6665。(菅原武史)

情報センサー

シナモロールのフルーチェ ハウス食品は、サンリオの人気キャラクター「シナモロール」とコラボした「フルーチェ」=写真=を発売した。裏面にシナモロールの指人形を切り取る。遊べる。ミッチリ取ってできるとイキクスピ2種類があり、200g入り希望小売価格は225円。問い合わせは通話無料のお客相談センター(0120)501231。

スノーピークが自社買収(キャッシュ)による自社買収(MBO)を実施すると発表した。株式を非公開化することで長期的な視点で改革に取り組むのが狙い。新型コロナウイルス禍

で過熱したキャンプ人気に陰りが見える中で、成長の柱として海外事業の強化を進める。ペイン側が21日から4月12日まで

株式公開買い付け(TOB)を実施する。価格は1株1250円。最終的には、スノーピーク株の55%をペイン側が保有し、残りを創業家が持つ。

スノーピークの2023年12月期連結決算は売上高が前期比16.4%減の257億円、純利益99.9%減の100万円に落ち込んだ。 紙面編集・斎藤貴文